

# 医療と介護の連携に関するアンケート集計（居宅介護事業所）中丹西分

## 1 照会・回答状況

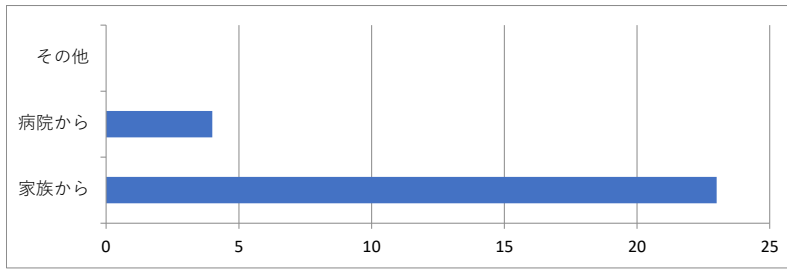
照会数	27件
回答数	26件
回答率	96%

## 2 アンケート集計結果

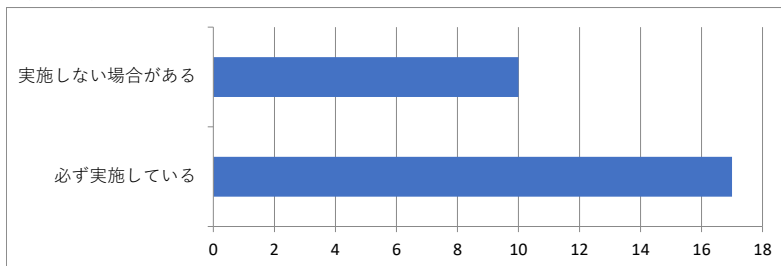
### 【入院時の連携について】

- ・入院情報の入手先は家族からがほとんどである。
- ・入院時における病院への情報提供については、基本的に実施している。短期の入院や入院が把握できていない場合は実施出来ない。
- ・情報提供の時期については、入院後3日以内にされていることが最も多い。
- ・入院後8日以降に情報提供となる場合の理由としては、短期入院や入院の把握が出来ていない場合となっている。
- ・病院への情報提供に当たり、サービスの内容や家族、生活環境などが求められることがある。

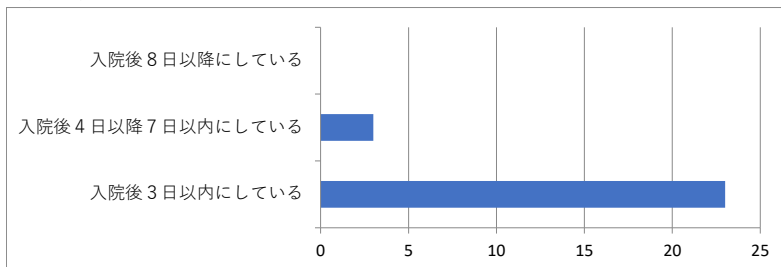
(図-1) 入院情報の入手先



(図-2) 入院時における病院への情報提供



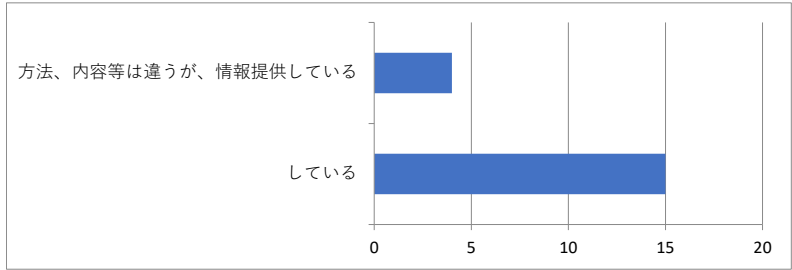
(図-3) 情報提供の時期



### 【市外、中丹圏域以外の病院との連携】

- ・市内病院と同様に情報提供がされているが、訪問では無く電話やFAX等による場合もある。
- ・入院時の連携に対する課題等については、遠方であることによりコミュニケーションを取ることにも難しく、連携が取りづらいことがあげられている。

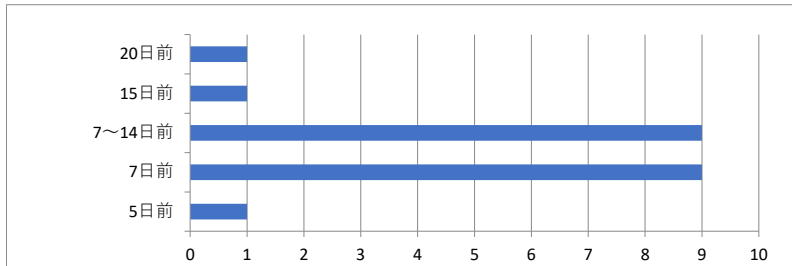
(図-4) 市外、中丹圏域以外の病院に対する情報提供



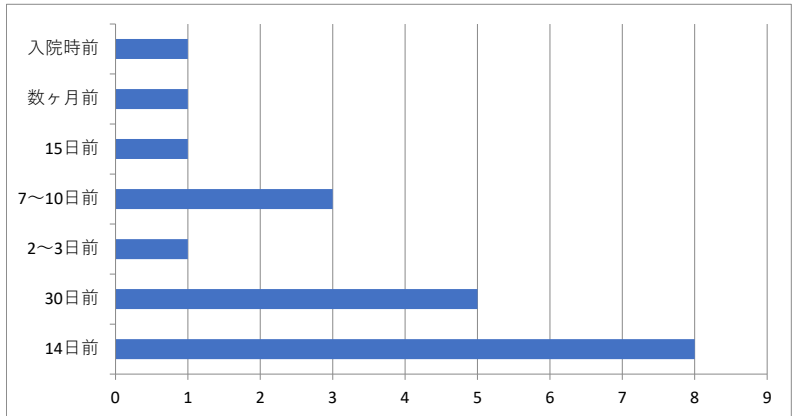
【退院時の連携について】

- ・病院からの退院連絡については、通常7日前が最も多く、早いときは14日前、遅いときは1日前となる場合が多くあげられている。居宅介護事業所としては7～14日以内の連絡が適当であるという考えが多い。
- ・病院側に退院時カンファレンスの開催を求めた際、状態の変化がない場合や急に退院が決まった場合以外は行われていることが多い。
- ・開催されなかった場合は、ケアマネジャーからの病院や家族等への聞き取りや、場合によってはサマリーを入手することもある。
- ・退院調整の課題としては、独居等在宅復帰が難しい利用者に対し、ショートステイなど居宅介護サービスが不足していることにより、受け入れが難しいことが課題となっている。

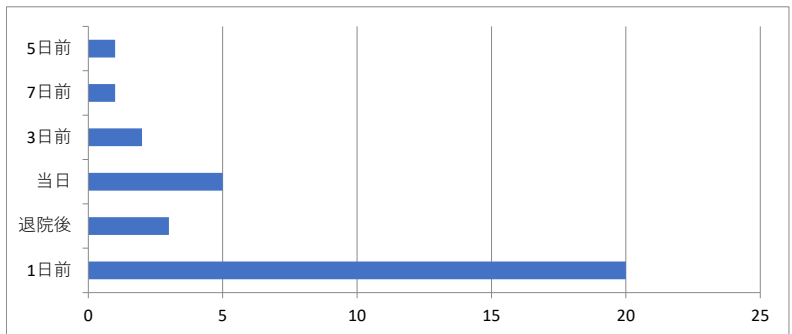
(図-5) 病院からの退院連絡<通常の場合>



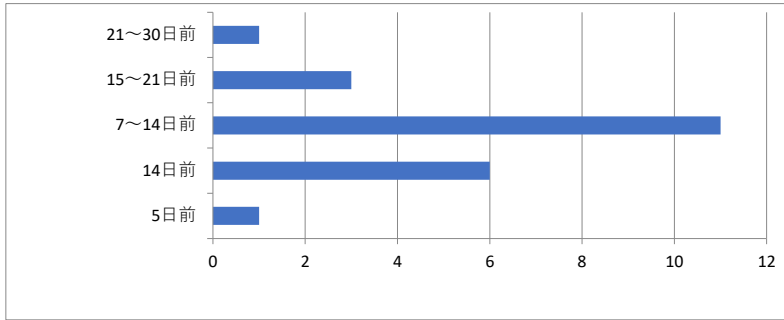
(図-6) 病院からの退院連絡<早いとき>



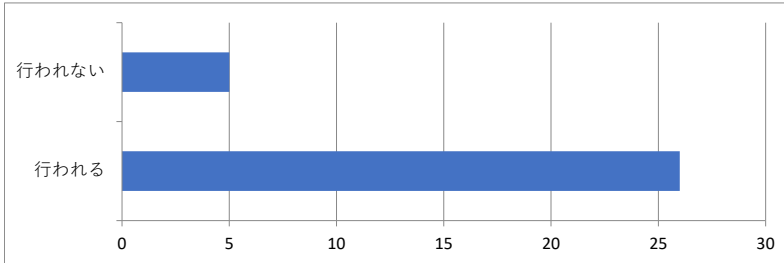
(図-7) 病院からの退院連絡<遅いとき>



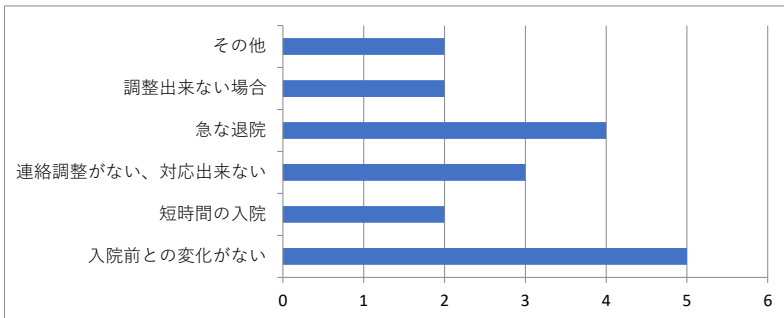
(図-8) 病院からの退院連絡において適当とされる連絡日



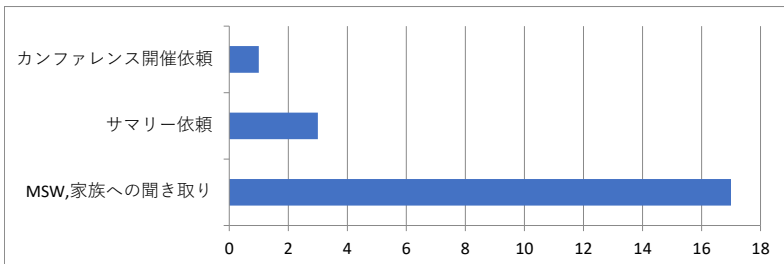
(図-9) 退院カンファレンスの開催を求めた際



(図-10) カンファレンスが行わない場合の状況



(図-11) カンファレンスが行われない場合の対応



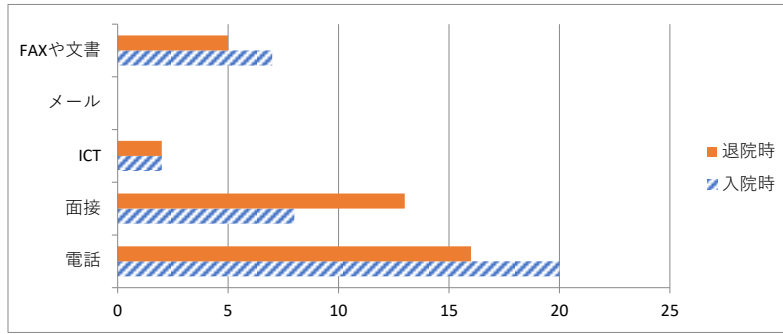
退院調整の課題（自由記載から抜粋）

- ・退院後、人的・環境的に在宅で生活することが難しい利用者に対して、病院・施設などの受け皿が少ない。
- ・退院後在宅で生活するには、もう少しリハビリが必要な利用者を受け入れる病院等が少ない。
- ・家族の理解不足
- ・ターミナルの方の場合、急に退院と同時に依頼があることが多く、サービス調整に追われる。特に訪問看護事業所の調整に難航する。
- ・多職種で集まろうとすると日程調整が困難

【かかりつけ医との連携について】

- ・入退院の連携については、電話や面接で行われており、課題としては返信が遅いことや連絡が取りづらい、気を遣うといった意見が出ている。

(図-12) かかりつけ医との連携方法



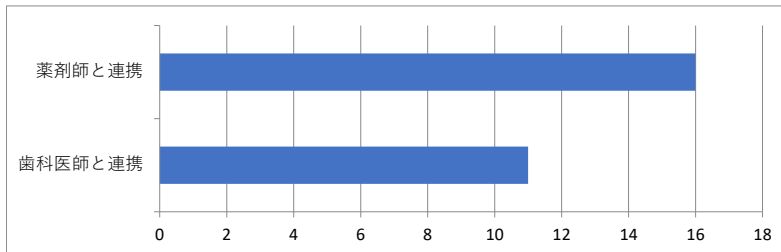
かかりつけ医との連携における課題（自由記載から抜粋）

- ・ F A Xの返信がなかったり、返信が遅いことがある。
- ・ 先生によっては話しにくいし気を遣う。
- ・ 面会できる時間、話ができる時間が限られている。
- ・ 医師によって違いはあるがF A X照会等しても返してもらえない。

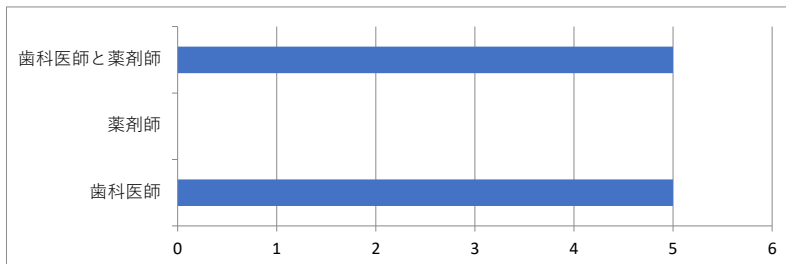
【歯科医師・薬剤師との連携について】

- ・ 歯科医師については訪問診療の依頼や立ち会い、薬剤師については居宅療養管理指導や服薬管理に係る連携が取られている。
- ・ 連携が必要と感じる理由として、歯科医師については口腔ケアの必要性、薬剤師については利用者にあった服薬管理の必要性が求められている。

(図-13) 歯科医師・薬剤師との連携状況



(図-14) 現在連携は取れていないが今後必要



(連携が必要な理由)

- ・ 義歯の不具合や口腔トラブルがある場合もあるので連携をとった方がよいと思うときもある。
- ・ 本人に合う内服管理を求める（カレンダー、箱、日付記入、一包化など）。
- ・ 退院時の看護サマリーやリハビリテーション情報提供所が直接訪問看護や訪問リハビリ事業所に対して送付される病院がある。
- ・ ケアマネに対しても情報提供いただきたい。